

# 林下とよひこ

はやしした

議員活動報告 令和7年10月号

新清風会 発行

末本幸夫、佐々木一弥、林下豊彦

## ご挨拶

こんにちは。猛暑、酷暑の夏も終わり10月後半には寒さを感じるようになってきました。気温の変化が激しい時期です、体調には十分お気をつけください。

今回もまた、鯖江市の行政課題についての一般質問の内容、また、その他の活動について報告書を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。

## 「令和7年 6月 定例会一般質問」

### 「資源物回収」について

<P3も参照ください>

**Q** 燃やすごみの減量化が進み、資源物回収量が増えている現状は一定の評価はできるが、まだまだ分別のルールが理解できていないことや、回収ボックスが分かりづらい、使いづらいなど課題は多い。鯖江市はこの分別の現状をどのように評価しているのか？また今後の取り組みについてはどのように考えているのか？

**A** 市民の皆様のご理解とご協力により、ごみの減量化の令和2年度比2割減の目標は達成できている。一方で、分別ルールの徹底については、充電式電池の分別が十分でなく発生した火災が2件あり、分別が十分に周知されていなかった。

充電式電池だけでなく、従来から分別が必要とされている資源ごみも燃やすごみとして排出されているケースもある。今後は分かりやすい情報発信と効果的な周知啓発に取り組む。

### 意見

市民の皆さんに対して、鯖江市からの情報を確実に伝える必要がある。今議会では、資源物回収以外にも、区長からの一般的な情報の伝達や、緊急時の情報伝達などの必要性についても質問している。将来を見据えて市民に対して確実な情報伝達、発信ができるツールを構築していく必要がある。一朝一夕にはできないがしっかりと取り組むべきである。

## 「令和7年 9月 定例会一般質問」

みなさんは将来に不安を感じたことはありませんか？健康のこと、金銭的なこと、住まいのこと、家族のこと、、、などやがては“おひとりさま高齢者”となってしまう不安です。

### 生活支援

**Q** おひとりさま高齢者とは、伴侶と死別したり、子どもと別居するなどいろいろな事情により独り暮らしをしている高齢者のことである。高齢による健康面でのリスクや、社会的な孤立など課題があるが、鯖江市の高齢者に対する**生活支援**への取り組みはどうなっているのか。

**A** 鯖江市では、独り暮らしの高齢者に対する生活支援として、民生委員が定期的に訪問し、安否確認を行っている。また、孤独感の解消と精神的な健康を増進することを目的にサロンなどを行っている。このほかにも、緊急時にボタンを押して通報する緊急通報装置や、屋根雪下ろし、庭木の手入れなど軽作業費用の一部を助成している。

### 居住支援

**Q** おひとりさま高齢者は、心身の不調により、それまで住んでいた住居で住み続けることが難しくなることがある。そうすると、転居可能な公的な住宅や民営住宅が必要になるが、鯖江市内に有るのか？そもそもおひとりさま高齢者が保証人等の問題もなく入居できるのか？

国では、「住宅確保要配慮者（高齢者・低所得者・障がい者・子育て世代・被災者など）」の**居住支援**を行う住宅セーフティネット制度を推進しているが、現在の鯖江市での取り組みはどうか。

**A** 独り暮らしの高齢者の住居に関する相談に対しては、福祉部局、また福井県居住支援協議会との連携を取りながら迅速な住まいの確保に努めている。

### 居住支援協議会

**Q** 住宅セーフティネット法では、**生活支援**と**居住支援**の両輪を貫き、民間の住宅関連企業や福祉事業者との連携を求めている。この連携が**居住支援協議会**である。県内では既に越前市、敦賀市、坂井市、福井市で設置や設置準備が進んでいる。鯖江市での取り組みはどうか。

**A** 鯖江市としても、居住支援協議会の設置も視野に入れて、福祉部局、住宅部局との連携を強化して住まいと生活の両面から支援を行える体制を整え、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指している。

### 意見

この**居住支援協議会**の設立には、**社会福祉事業者**、**不動産事業者**、そして**居住支援法人**（生活の支援や保証、見守りや緊急時の対応もする民間企業）などとの連携が必要である。簡単ではないが、県内他市町の状況を鑑みてもその取り組みが必要なのは明白であり、居住支援協議会の早急な設立を強く要望する。

市民のみなさんに十分にご理解いただいていない資源ごみの分別を私の経験からお知らせします。



<正しい分別です>

### 『容器包装プラスチック』と『製品プラスチック』の違いはわかりますか？

#### 容器包装プラスチック

お金で買った商品（食べ物や洗剤など）が入っている容器や包装プラスチック。商品を使い終わったら不要になったプラスチック容器やプラスチック包装資材。

#### 製品プラスチック

容器包装以外のプラスチック。製品そのものをお金で買っているバケツやスプーン、ハンガー等（イメージとして100円均一で売っているようなプラスチック製品）



<正しい分別です>



<電球、点灯管は違います>  
蛍光灯は直管と円形の物だけで電球や点灯管は不燃ごみへ



<正しい分別です>  
空き缶の中には缶詰やお菓子の缶海苔の缶、ミルクの缶も含みます



<びんは化粧品の容器が捨ててありました>  
空きびんは、飲料用、食料用のものだけです。写真のような化粧品の瓶は燃えないゴミへ。またコップやガラスも燃えないゴミへ。  
色分けは無色透明・茶色・その他（その他とは青、緑、黒など）で分かれており、ビン飲み口の色で判断します。  
生きびんとは 洗浄して再利用する（リユース）ビール瓶と一升瓶だけを指します



<下着、マット、切り刻んだ衣類は回収しません>  
布類とはリサイクルショップで引き取ってもらえるものです（リユースします）。ですから、下着や切り刻んだ衣類（燃やすごみ）、マットや布団、座布団（リサイクルセンターへ）は回収しません



<白トレイにカップ麺、納豆の容器がありました>  
白トレイはカップ麺の容器や納豆の容器は対象外です、どちらも容器包装プラへ



<100円ライターはも燃えないごみへ>  
通称100円ライターはスプレー缶ではなく燃えないごみへ



<傘がそのまま捨ててありました>  
傘は布やビニールの部分（燃やすごみへ）は外し、骨組みだけにして不燃ごみへ

## 「その他の活動」



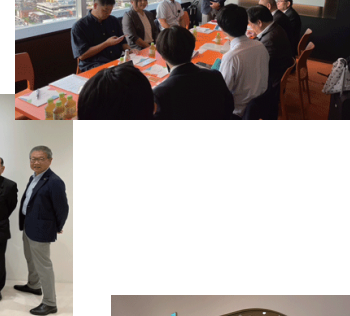
- ・六ヶ所村原子力関連施設
- ・官民連携オガールプロジェクト
- ・八戸ポータルミュージアム 現地視察



滋賀国体に出場の鯖江高校体操部の応援に滋賀アリーナへ（福井県体操協会として）



病院備品製造大手オサキメディカル株式会社を訪問（丹南病院組合議会 視察）



- ・調布市ヤングケアラー支援
- ・発達障害、不登校に対する支援（LITALICO）
- ・図書館併設複合施設 武蔵野プレイス
- ・IOFT（国際メガネ展）（教育民生委員会先進地視察）



三六祭（5月）と鯖江市戦没者追悼式、慰霊法要（10月）



映画『きみの音が見えたとき』は、かつて光道園にあった障がい者のバンド「ミックパラス」の存在と意義を後世に残したいという強い思いから八波一紀さん（写真右から2人目）が映画製作に踏み切りました。映画の撮影は来年鯖江市、越前町を中心に県内ロケにて撮影予定です。

映画『きみの音が見えたとき』のPR活動をSDG'sフェスで